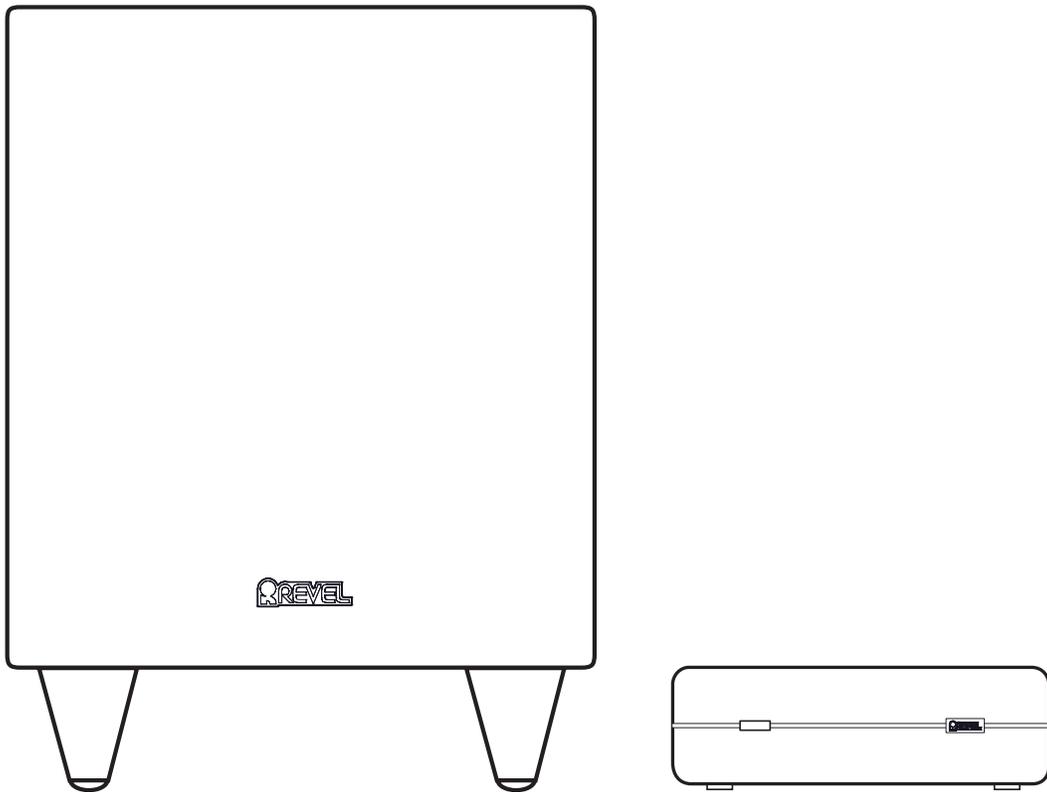


# REVEL<sup>®</sup>

## REVEL B8ワイヤレス・サブウーファー 取扱説明書



## 安全上のご注意

1. 本機を水がかかる恐れのある場所で使用しないでください。
2. 花瓶など、水が入ったものを本機の上に載せないでください。
3. 本説明書の記載にしたがって設置してください。設置時は、本機の通風孔を塞がないようご注意ください。
4. 本機をエアコンやストーブ、アンプなどの熱源の近くに設置しないでください。
5. 電源コードの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
6. 電源コードを無理に曲げないでください。
7. 指定の工具やアクセサリ以外は使用しないでください。
8. 台車などで本機を運ぶ場合は、本機が台車から落ちるなどしてけがの原因とならないよう十分ご注意ください。
9. 本機を長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから外してください。
10. 本製品の清掃には、乾いた布をお使いください。
11. 以下のような不具合が生じたときは、ご自分で修理しようとなさらず、必ずハーマンインターナショナル株式会社にご相談ください。
  - 電源コードや電源プラグなどが損傷した
  - 本機の内部に水などの液体や金属片などの物体が入った
  - 本機が雨や湿気にさらされて動作しなくなった
  - 本機が落下により動作しなくなった

## 目次

REVEL®について.....	2
はじめに.....	3
梱包内容.....	3
各部の名称(サブウーファー背面).....	3
各部の名称(トランスミッター・ユニット背面).....	3
サブウーファーの設置.....	4
サブウーファーの接続.....	5
サブウーファーの操作.....	6
仕様.....	7
保証について.....	7

この度は、REVEL B8 ワイヤレス・サブウーファーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

## REVEL®について

1996年の誕生以来、Harman Internationalの支援のもと、REVELはスピーカー設計と運用における最先端のブランドとしてご愛顧をいただいております。REVELは、以下のような先進のリソースを活用し、そのメリットを享受しています。

- 大型無響室における精密なテストと測定
- マルチチャンネル・リスニングラボにおける任意位置での目隠しリスニングテスト
- レーザー干渉計による綿密なドライバーとキャビネット分析
- 詳細な要素解析に基づくスピーカー設計
- ステレオ・リソグラフィー設備を使った短時間でのパーツ製造

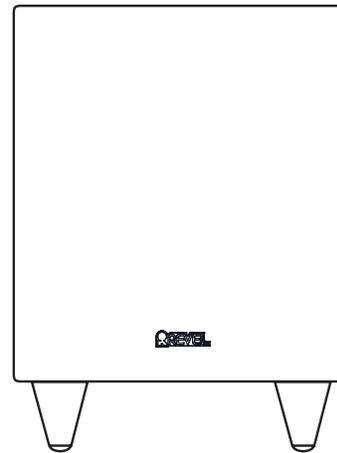
## はじめに

REVEL B8/パワード・ワイヤレス・サブウーファーは、200mmダウンファイアリング・コーン・トランスデューサーおよび内蔵の高性能200Wアンプにより低周波の音声をパワフルでダイナミックかつ正確に再現、たとえば映画のサウンドトラックなどの音楽を生き生きと伝えます。サブウーファーは、オーディオ信号をトランスミッター・ユニットからワイヤレスで受信しますので、配線ケーブルの引き回しを気にすることなく室内のお好みの場所に配置することができます。さらに、有線による接続も可能です。この性能と柔軟性により、REVEL製品はリピーターのお客様にも十分満足していただいております。

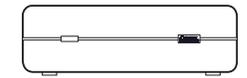
この取扱説明書は、本機の設置と接続、調整について記載しています。

## 梱包内容

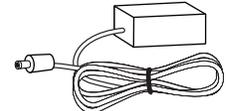
### ワイヤレス・サブウーファー



### トランスミッター・ユニット



#### ACアダプター



#### AC電源コード



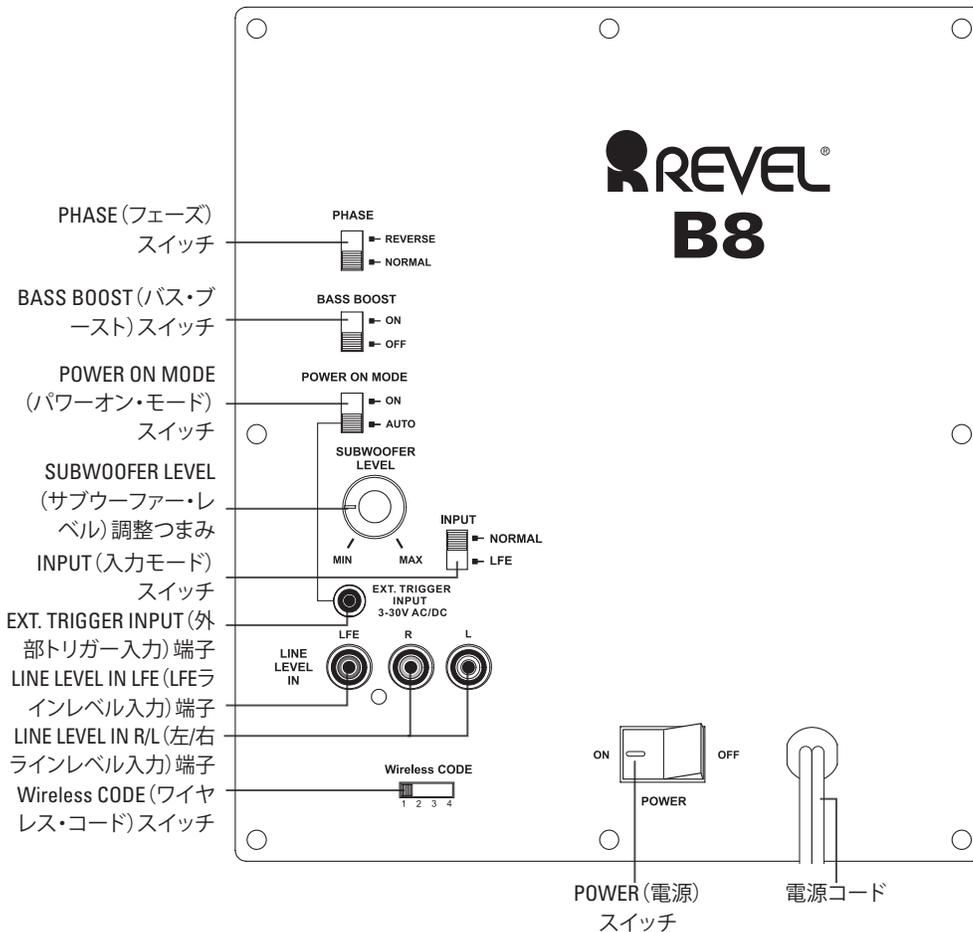
#### LFEケーブル



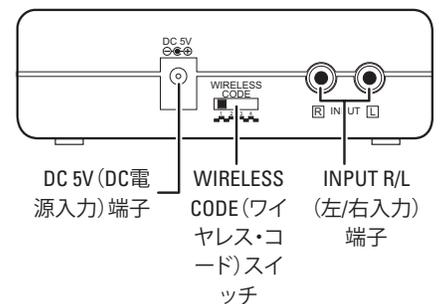
#### トリガーケーブル



## 各部の名称 (サブウーファー背面)



## 各部の名称 (トランスミッター・ユニット背面)



## サブウーファー

**PHASE (フェーズ) スイッチ:** NORMAL (ノーマル) の位置にすると、サブウーファーのトランスデューサーはサテライトスピーカーと同じ位相で動作します。REVERSE (反転) の位置にすると、トランスデューサーとサテライトスピーカーの位相は逆転します。通常は、NORMAL の位置でお使いください。REVERSE の位置にするとサテライトスピーカーからの音波がサブウーファーの音波を相殺し、低音域の再現パフォーマンスが低下します。ただし、各スピーカーの設置位置によっては、REVERSE 位置で思わぬ効果が生じることがありますので、お好みの位置に切り替えてお使いください。

**BASS BOOST (バス・ブースト) スイッチ:** ON (オン) の位置にすると、低音域が強調されます。お好みに合わせて ON (オン) または OFF (オフ) に切り替えてください。

**POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチ:** このスイッチを AUTO (自動) の位置にして POWER (電源) スイッチを ON にすると、オーディオ信号を受信したときにサブウーファーが自動的にオンになり、約15分間オーディオ信号が途絶えるとスタンバイモードに切り替わります。このスイッチが ON (オン) の位置の場合は、オーディオ信号が途絶えてもサブウーファーはオンのままです。サブウーファーをオフにするには、POWER (電源) スイッチを OFF にします。サブウーファー上面の LED インジケーターが、電源の状態を示します。

- ・サブウーファーがオンの場合: LED インジケーターが白く点灯
- ・サブウーファーがスタンバイモードの場合: LED インジケーターが消灯

**SUBWOOFER LEVEL (サブウーファー・レベル) 調整つまみ:** サブウーファーの音量を調節します。左 (MIN 側) に回すと音量が小さくなり、右 (MAX 側) に回すと音量が大きくなります。

**INPUT (入力モード) スイッチ:** サブウーファーの LINE LEVEL IN R/L (左/右ラインレベル入力) 端子を使用して音声信号を入力する場合は、このスイッチを NORMAL (ノーマル) の位置にします。LINE LEVEL IN LFE (LFE ラインレベル入力) 端子を使用して音声信号を入力する場合は、このスイッチを LFE (低域効果音) の位置にします。

**EXT. TRIGGER INPUT (外部トリガー入力) 端子:** 付属のトリガーケーブルを使用して、この端子を対応する別のコンポーネントのトリガー出力端子に接続します。サブウーファーが 3V~30V (AC または DC) のトリガー信号を入力すると、内蔵アンプがオンになります。トリガー信号の入力が途絶えると、POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチが AUTO の場合でも内蔵アンプはオフになります。

**LINE LEVEL IN LFE (LFE ラインレベル入力) 端子:** ローパス・クロスオーバー回路を備えたレシーバーやプロセッサのサブウーファー出力端子を本機に接続する場合には、この端子を使用します。この端子に入力した信号は、本機内のローパス・クロスオーバー回路を迂回します。INPUT (入力モード) スイッチは、LFE の位置にします。

**LINE LEVEL IN R/L (左/右ラインレベル入力) 端子:** ローパス・クロスオーバー回路を持たないレシーバーやプロセッサのプリアンプ出力端子やサブウーファー出力端子を本機に接続する場合には、この2つの端子を使用します。右チャンネルを R 端子に、左チャンネルを L 端子に接続してください。この端子に入力した信号は、本機内のローパス・クロスオーバー回路を経由します。INPUT (入力モード) スイッチは、NORMAL の位置にします。レシーバーやプロセッサにサブウーファー出力が1系統しかない場合は、R または L のいずれかの端子に接続してください。

**Wireless CODE (ワイヤレス・コード) スイッチ:** このスイッチで、ワイヤレス・サブウーファー信号伝達の4つのチャンネルのいずれかを選択します。

**重要: サブウーファーの Wireless CODE スイッチとトランスミッター・ユニットの WIRELESS CODE スイッチは必ず同じチャンネルにセットしてください。「ワイヤレス・コードの設定」(7ページ) も併せてご覧ください。**

**POWER (電源) スイッチ:** サブウーファーの電源を入れるには、このスイッチを ON にします。POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチの位置により、サブウーファーはオンまたはスタンバイモードになります。

**電源コード (着脱不可):** すべての接続が完了したことを確認してから、壁のコンセントに差し込みます。一部のオーディオ・コンポーネントに備えられている AC 電源コンセントには絶対に接続しないでください。

## トランスミッター・ユニット

**DC 5V (DC 電源入力) 端子:** 付属の AC アダプターと AC 電源コードを使って、トランスミッター・ユニットを壁のコンセントに接続します。

**WIRELESS CODE (ワイヤレス・コード) スイッチ:** このスイッチで、ワイヤレス・サブウーファー信号伝達の4つのチャンネルのいずれかを選択します。

**重要: サブウーファーの Wireless CODE スイッチとトランスミッター・ユニットの WIRELESS CODE スイッチは必ず同じチャンネルにセットしてください。「ワイヤレス・コードの設定」(7ページ) も併せてご覧ください。**

**INPUT R/L (左/右入力) 端子:** 付属の LFE ケーブルを使って、レシーバーまたはプロセッサのサブウーファー出力端子を R または L のいずれかの端子に接続します。

## サブウーファーの設置

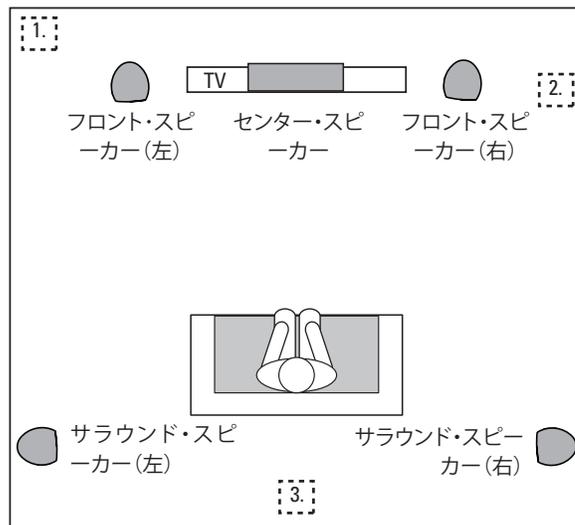
サブウーファーのパフォーマンスは、リスニングルーム内の設置位置および他のスピーカーとの位置関係に影響されます。

通常、人間の耳はサブウーファーから生成される低音域の指向性サウンドを直接聴き取ることはできません。ただし、サブウーファーを室内のような閉じられた空間に設置すると、室内で生じる反射や定在波、吸収といった現象がそのパフォーマンスに大きな影響を及ぼします。つまり、サブウーファーの設置位置がその低音の質と量にとってきわめて重要な役割を果たします。

例えば、サブウーファーを壁に接して設置すると、通常は室内の低音の量が増大します。また、部屋の隅 (図の [1] の位置) に置くと、室内の低音の量は最大になります。ただし、この位置での使用は低音のパフォーマンスに対して定在波がマイナスの影響を及ぼす可能性があります。この影響の程度はリスニング・ポジションに左右されます。あるリスニング・ポジションでは思わぬ良い結果が得られる一方、別のポジションでは特定の周波数で低音が強調され過ぎたり弱くなり過ぎたりする場合があります。

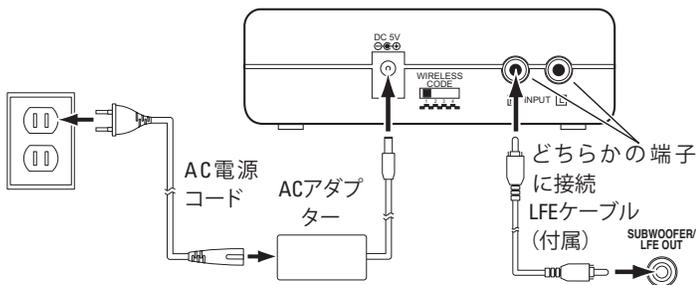
ほとんどの部屋では、サブウーファーを左右のスピーカーまでの距離と同じ位置に置くと (図の [2] の位置)、サブウーファーと左右のスピーカーのサウンドの融合が最適になることが期待できます。また、リスニング・ポジションの背後 (図の [3] の位置) にサブウーファーを置いた場合にパフォーマンスが最高に達することもあります。

サブウーファーの設置位置を決定する前に、低音を多く含む音楽を再生して、いろいろな位置で聴き比べてみてください。



## サブウーファースの接続

### ワイヤレス接続



1. トランスミッター・ユニットのINPUT R/L (左/右入力) 端子のいずれか一方とレシーバーまたはプロセッサのサブウーファー出力端子を付属のLFEケーブルを使って接続します。

レシーバー/プロセッサにサブウーファー出力端子がなく、プリアンプ用のライン出力 (L/R、音量調整可能) のみがある場合は、ステレオ・オーディオケーブル (別売) を使用してトランスミッター・ユニットのINPUT R/L (左/右入力) 端子のそれぞれに左チャンネルおよび右チャンネルを接続します。

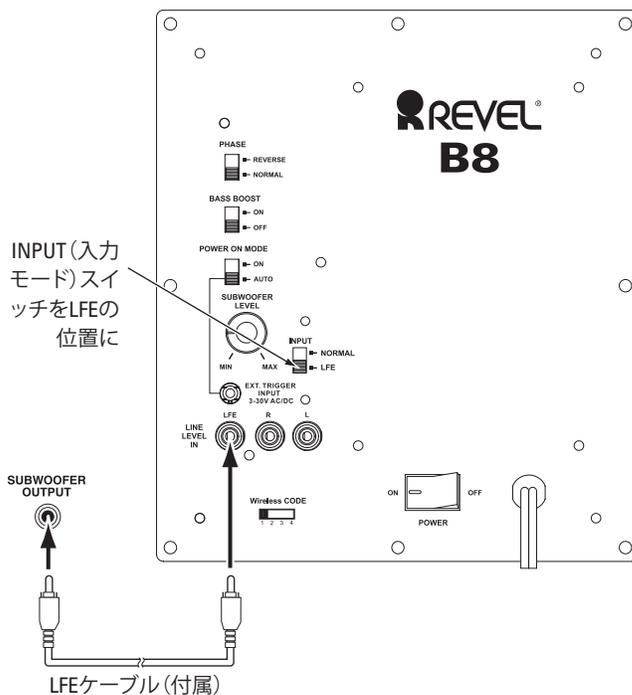
2. ACアダプターをトランスミッター・ユニットのDC 5V (DC電源入力) 端子に接続し、AC電源コードでACアダプターと壁のコンセントを接続します。
3. トランスミッター・ユニットのWIRELESS CODEスイッチとサブウーファースのWireless CODEスイッチを同じ位置にセットします。

### ケーブル接続

ワイヤレス接続の代わりに、オーディオ・ケーブル (別売) を使用して、サブウーファースを有線で接続することもできます。

**注:**ワイヤレス接続とケーブル接続により、2つの音源をサブウーファースに接続することができます。ただし、両方の音源を同時に再生すると、サブウーファースからは両方の低音が聴こえます。

### 専用サブウーファース出力を備えたレシーバーまたはプリアンプ/プロセッサとの接続

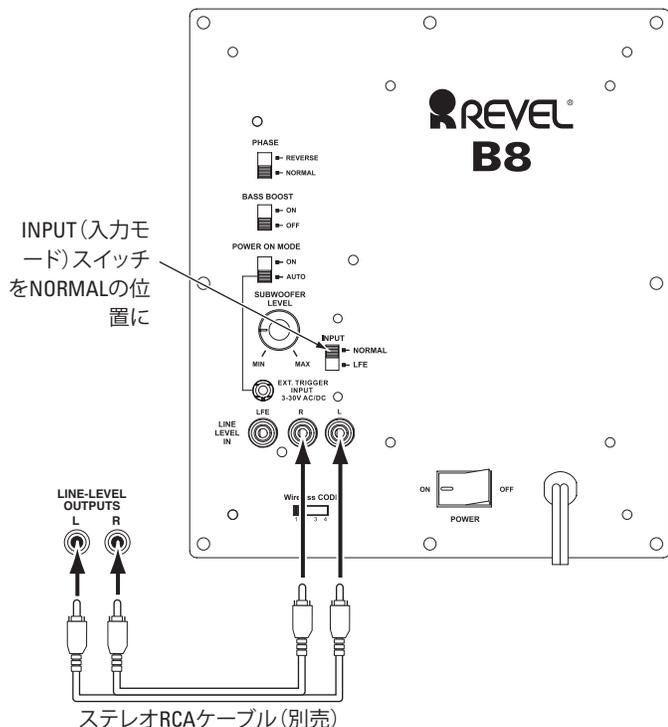


サブウーファース専用出力端子を備えたレシーバーおよびプリアンプ/プロセッサとの接続方法です。

サブウーファースのLINE LEVEL IN LFE (LFEラインレベル入力) 端子とレシーバーまたはプリアンプ/プロセッサのサブウーファース専用出力端子 (またはLFE出力端子) を、付属のLFEケーブルを使って接続します。サブウーファースのINPUT (入力モード) スイッチはLFEの位置にしてください。

レシーバーまたはプリアンプ/プロセッサで、「サブウーファースをオン」に設定します。すべての接続が完了したことを確認してから、サブウーファースの電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。

## ライン出力を備えたレシーバーまたはプリアンプ/プロセッサとの接続

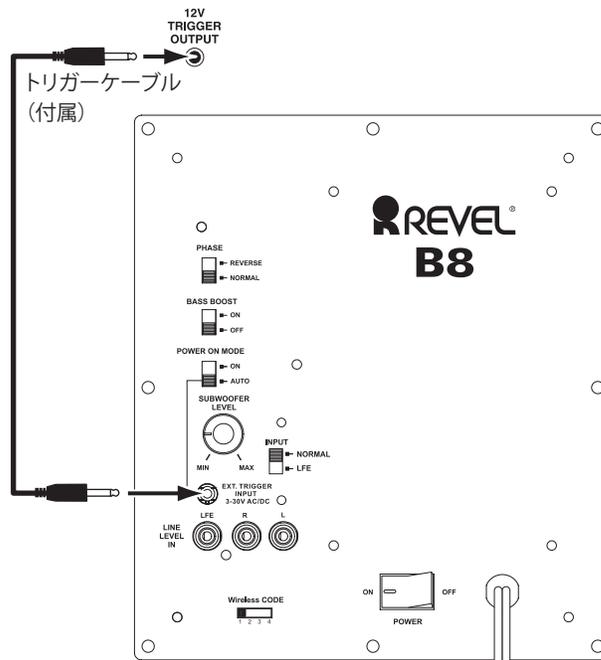


サブウーファー専用出力端子を持たず、プリアンプ用のライン出力 (音量調整可能) のみがあるレシーバーおよびプリアンプ/プロセッサとの接続方法です。

ステレオRCAケーブル (別売) の一方をレシーバーまたはプリアンプのライン出力に、もう一方をサブウーファーのLINE LEVEL IN R/L (左/右ラインレベル入力) 端子に接続します。サブウーファーのINPUT (入力モード) スイッチはNORMALの位置にしてください。

すべての接続が完了したことを確認してから、サブウーファーの電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。

## トリガー出力との接続



EXT. TRIGGER INPUT (外部トリガー入力) 端子がトリガー電圧を入力すると、サブウーファーは自動的にオンになり、トリガー電圧の入力が途絶えるとスタンバイモードに切り替わります。

プリアンプ/プロセッサやその他のオーディオ/ビデオコンポーネントが3V~30V (ACまたはDC) のトリガー信号出力端子 (3.5mmミニジャック) を備えている場合、付属のトリガーケーブルを使用してサブウーファーのEXT. TRIGGER INPUT (外部トリガー入力) 端子に接続することができます。

**注:**サブウーファーのEXT. TRIGGER INPUT (外部トリガー入力) 端子をホームシネマ・システムやサラウンド・レシーバーのリモートコントロール出力 (IR出力) 端子に接続しないでください。故障の原因になることがあります。

## サブウーファーの操作

### 電源のオン/オフ

サブウーファーのPOWER (電源) スイッチをONにします。

POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチをAUTOにセットしている場合、オーディオ信号を受信するとサブウーファーは自動的にオンになり、約15分間オーディオ信号が途絶えるとスタンバイモードに切り替わります。サブウーファーがオンの場合はLEDインジケータが白く点灯し、スタンバイモードの場合は消灯します。

POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチをONにセットしている場合、サブウーファーは常にオンのままです。サブウーファーのLEDインジケータは白く点灯します。

サブウーファーのEXT. TRIGGER INPUT (外部トリガー入力) 端子を他のコンポーネントなどのトリガー出力端子に接続している場合、POWER ON MODE (パワーオン・モード) スイッチの位置に関わらず、トリガー電圧の入力中は常にサブウーファーの電源はオンで、トリガー電圧が途絶えるとスタンバイモードに切り替わります。

長期間家を留守にする場合や本機を長時間使用しない場合は、POWER (電源) スイッチをOFFにしてください。

## ワイヤレス操作

トランスミッター・ユニットが音源機器からオーディオ信号を受信すると、すぐに電源が入り、LEDインジケーターが緑で点滅または点灯します。

**緑(点滅):**トランスミッター・ユニットはオンですが、サブウーファーとのリンクは確立していません。

**緑(点灯):**トランスミッター・ユニットがオンで、サブウーファーとのリンクが確立しています。

**赤:**スタンバイモード(オーディオ信号が検出されず、トランスミッター・ユニットはオフ)です。

音源機器からのオーディオ信号が約10分間検出されないと、トランスミッター・ユニットは自動的にスタンバイモードに切り替わります。

## ワイヤレス・コードの設定

トランスミッター・ユニットのWIRELESS CODEスイッチとサブウーファーのWireless CODEスイッチは、必ず同じ位置にセットしてください。それぞれのスイッチの位置が異なると、本システムは正しく動作しません。

万一、本システムの操作中に干渉が起こった場合、あるいは2台以上のREVEL B8を使用する場合は、ワイヤレス・コードのチャンネルを変更することができます。1台のサブウーファーのトランスミッター・ユニットとサブウーファー上のスイッチを残る3つのポジションのうちの1つにセットします。

1台のトランスミッター・ユニットのWIRELESS CODEスイッチと2台のサブウーファーのWireless CODEスイッチを同じ位置にセットして、1台のトランスミッター・ユニットから最大で2台のサブウーファーに同一のオーディオ信号を送信することができます。

## サブウーファーの音量調整

SUBWOOFER LEVEL(サブウーファー・レベル)調整つまみを使用して、サブウーファーの音量を調整します。つまみを右に回すとサブウーファーの音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

## サブウーファー音量調整時の注意:

一般の音楽に適切な音量は映画では大きすぎ、映画に適切な音量は一般の音楽では小さすぎるといった可能性があります。低音を多く含む一般の音楽と映画を聴きながら、最適な音量を探してください。

サブウーファーの音が大きすぎる、または小さすぎるように感じる場合、サブウーファーを位置を変えてみてください。「サブウーファーの設置」(4ページ)も併せてご覧ください。

## サブウーファーの位相調整

PHASE(フェーズ)スイッチで、サブウーファーがサテライトスピーカーと同じ位相で動作するかどうかを切り替えます。サブウーファーがサテライトスピーカーと逆相で動作している場合、サテライトスピーカーからの音波がサブウーファーからの音波を相殺し、低音域の再現パフォーマンスが低下します。この現象は、部屋のスピーカーの配置によってある程度決まります。

通常、PHASE(フェーズ)スイッチはNORMALの位置でお使いください。サブウーファーがサテライトスピーカーと同じ位相で動作しているとき、オーディオはよりクリアになり、最高のインパクトがあって、ドラムのような打楽器のサウンドやピアノ、弦楽器のサウンドがより生き生きと聞こえます。聴き慣れた音楽を聴き、ドラムなどの打楽器のサウンドがお好みのインパクトを持つ位置にPHASE(フェーズ)スイッチを設定してください。ただし、各スピーカーの設置位置によっては、REVERSE位置で思わぬ効果が生じることがあります。

## サブウーファーの低音強調

BASS BOOST(バス・ブースト)スイッチをON(オン)の位置にすると、低音域が強調され、よりインパクトのある低音をお楽しみいただけます。お好みに合わせてON(オン)またはOFF(オフ)に切り替えてください。

## 仕様

低周波トランスデューサー:	200mmダウンファイアリング・コーン
アンプ出力:	200W(連続使用時)、400W(ピーク時)
周波数特性:	45Hz~200Hz(-6dB)
制御つまみ/スイッチ:	音量、位相、低音強調
接続:	LFE(RCA)、左/右ラインレベル(RCA)
エンクロージャータイプ:	密閉型
外部トリガー入力電圧:	3~30V、ACまたはDC
サブウーファー動作電力:	AC100V、50/60Hz
サブウーファー消費電力:	0.5W以下(スタンバイ時); 243W(最大、100V)
サブウーファー寸法 (高さx幅x奥行):	353 x 267 x 267mm
サブウーファー質量:	9kg
トランスミッター動作電力:	AC100V、50/60Hz
トランスミッター消費電力:	0.5W以下
トランスミッター・ユニット寸法 (高さx幅x奥行):	35 x 127 x 89mm
トランスミッター・ユニット:	117g

## 保証について

本製品の保証は、添付されている品質保証書の規定に基づいて行われます。保証書の内容をご確認の上、大切に保管してください。



## LIMITED WARRANTY

Revel loudspeakers are warranted against defects. The duration of a warranty depends on the laws in the country in which it was purchased. Your local Revel retailer can help you determine the duration and coverage of your warranty.

For more information please visit: [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM)

Please visit [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) for additional language support on the user manual.

Veuillez visiter [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Para obter o manual do usuário em outros idiomas, acesse [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM)

Ga naar [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) voor de handleiding in andere talen.

Gå til [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) for bruksanvisning på flere språk.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM).

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、[REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM)にアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM)에서 확인하십시오

请访问 [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM).

Si prega di visitare [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) per i manuali di istruzioni in altre lingue.

Jos tarvitset ylimääräistä kieleen liittyvää tukea käyttöohjeesta, käy osoitteessa [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM).

Gå ind på [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) for at se betjeningsvejledningen på flere sprog.

Gå till [REVELSPEAKERS.COM](http://REVELSPEAKERS.COM) för mer information om språk i användarmanualen.

Торговая марка:	Revel
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО Внешторг-Юг, Россия, 171640, Тверская область, г.Кашин, ул. Карла Маркса, д.57А
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	<a href="http://absolut-audio.ru/Servis/">http://absolut-audio.ru/Servis/</a> тел. +7 (495) 995-10-80
Срок службы:	5 лет
Номер документа соответствия:	Товар не подлежит обязательной сертификации
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-МУ0000000, где «М» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «У» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).

### продукт中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件 (不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPuP)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。



HARMAN International, Incorporated  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

© 2017 HARMAN International, Incorporated. All rights reserved.

Revel and the Revel logo are trademarks of HARMAN International Industries, Incorporated, registered in the United States and/or other countries.

Features, specifications and appearance are subject to change without notice.

For questions, assistance or additional information concerning any of our products, call us at: (516) 594-0300 or (888) 691-4171. For technical support, submit your detailed inquiry